

人財開発委員会 年間事業計画

担当 委員会	ひとつくり 人財開発委員会
委員長	高田 晃裕
副委員長	森 大地
委員	市川 佳典                      ・ 林 卓信 柳瀬 芳仁

基本方針
JAYCEEとして会員一人ひとりが成長する機会を提供し、持続可能な人財・組織となることで、西美濃地域の発展に寄与する。

委員長方針

大垣青年会議所は本年度創立70周年を迎えます。1952年の創立以来、「明るい豊かな社会」を築くために、この西美濃地域を舞台に運動を行ってきましたが、これからも持続可能な西美濃地域を目指していくためには、地域の課題を客観的に捉えると共に、大垣青年会議所が主体となって地域や住民を繋ぎ、手を携えて課題の解決に臨んでいく必要があると考えます。また、そのためにも、会員一人ひとりがより研鑽を積み、成長することで地域を牽引するリーダーとなると共に、これからの大垣青年会議所を担っていく若い人財を会全体で育て、持続可能な組織を目指していく必要があります。

人財開発委員会は、新入会員の指導を預かる立場として、率先して青年会議所活動に邁進すると共に、新入会員に寄り添い、互いに切磋琢磨することで、一人ひとりがJAYCEEとして成長し、これからの大垣青年会議所や西美濃地域を支える柱となるような人財の育成を目指します。

<事業計画及び予算>

1. 事業名                      5月度例会の企画・運営
 

目的                              西美濃地域の現状を客観的に分析し、地域住民と地域が抱く課題を共有することで、住民の主体性の確立を促し、持続可能な西美濃地域を担っていく人財を育む契機とする。

予定と方法                      (1) 5月  
(2) 種別・公益事業(公1)  
(3) 短期ビジョン該当項目:多子社会に向けた取り組み

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	600,000	一般会計	600,000
合計	600,000	合計	600,000
  
2. 事業名                      新入会員の指導
 

目的                              三信条や青年会議所のもつ魅力を学び、感じることで、今後大垣青年会議所や西美濃地域を支える柱となる人財を育成する。

予定と方法                      (1) 1月～12月  
(2) 新入会員研修の実施(4回)  
(3) 新年互礼会アトラクションへのフォロー及び指導  
(4) 理事会へのオブザーブ出席  
(5) 3分間スピーチの実施  
(6) JCI日本の事業への参加促進及び、指導  
        JCI日本 京都会議(1月) 京都  
        岐阜BC 岐阜会議(2月)  
        岐阜BC 岐阜ブロックアカデミー(6月)  
        JCI日本 サマーコンファレンス(7月) 横浜  
        東海DC 東海フォーラム  
        岐阜BC 岐阜ブロック大会(8月) 土岐  
        JCI日本 全国大会(10月) 大分  
(7) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	120,000	一般会計	120,000
合計	120,000	合計	120,000

3. 事業名 新入会員による交流会の企画・運営に対する指導
- 目的 青年会議所活動での学びをもとに、交流会を企画・運営することで、事業構築を体験し、今後の活動へ繋げると共に、会全体で新入会員をサポートし、これからの大垣青年会議所を担う人財を育成する。
- 予定と方法 (1) 6月～12月  
(2) 議案作成及び議案上程セミナーの実施  
(3) 模擬正副理事長会議、模擬常任理事会、模擬理事会の実施  
(4) 事業実施準備及び事業報告の指導
4. 事業名 SDGsの推進
- 予定と方法 (1) その他
5. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他



4.	事業名	新入会員予定者及び賛助会員予定者の指導及び資格審査	
	目的	大垣青年会議所の理念と目的を伝え、事業への参加を通じて会員としての心構えと責任、自覚を持って活動できるよう指導を行い、適性を審査する。	
	予定と方法	(1) 7月～12月 (2) 新入会員予定者の資格審査(7月) (3) 新入会員予定者オリエンテーション開催(7月) (4) 新入会員予定者の参加対象事業への参加推進及び指導(8月～12月) (5) 賛助会員予定者の指導(随時) (6) 新入会員予定者及び賛助会員予定者の最終適正審査(12月) (7) 新年互礼会に向けた指導 (8) 種別・その他の事業	
	予算	<支出の部>	<収入の部>
		事業費	20,000
		合計	20,000
		一般会計	20,000
		合計	20,000

5. 事業名 SDGsの推進

予定と方法 (1) その他

6. 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

西美濃連携推進委員会 年間事業計画

担当 委員会 委員長 副委員長 委員	まちづくり 西美濃連携推進委員会 門田 寛之 太田 克洋 大城 圭右 野田 正興	・ 水谷 仁哉 ・ 鈴木 基晋	基本方針  SDGsの観点から社会課題の解決に向けた運動を行い、広域連携と新たな運動指針の策定により、持続可能な西美濃の発展に寄与する。
--------------------------------	---	--------------------	--

委員長方針(案)

近年、自然環境や社会情勢等の変化により住民の生活や財産に大きな被害が生じる現象が日本中で起きて、社会課題となっており、この西美濃地域も例外ではありません。さらに大垣青年会議所において地域住民と連携した「まちづくり」の事業が少なくなっていることに加えて、事業構築をする際にSDGsとの関連づけが後付けになっている現状があります。

そのため、SDGsのゴールを強く意識した上で、西美濃地域における社会課題と現状のリソースを今一度認識し、社会課題の解決に向けた事業を展開していきます。また過去3年間の大垣青年会議所としての運動を検証し、今後の運動指針を明確にしていくと共に、現在の社会情勢に即した形で西美濃地域の連携を推進する事業を展開します。

これによって住民が主役のまちづくりと持続可能な西美濃地域の連携を目指します。

<事業計画及び予算(案)>

- 事業名 4月度例会の企画・運営

目的 西美濃地域の社会課題と現状のリソースを認識し、解決に向けて地域住民と連携することで西美濃地域の発展に寄与する。

予定と方法 (1) 4月  
(2) 種別・公益事業(公2)  
(3) 短期ビジョン該当項目:主体者の育成と住民の積極的な社会参画に向けた取り組み

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	600,000	一般会計	600,000
合計	600,000	合計	600,000
- 事業名 9月度例会の運営

目的 広域連携事業に参加・協力し、西美濃地域の連携を推進する。

予定と方法 (1) 9月  
(2) ツール・ド・西美濃2022への参加・協力
- 事業名 西美濃の多彩な情報発信による地域活性化に向けた事業

目的 官民一体による西美濃地域の活性化に寄与する。

予定と方法 (1) ツール・ド・西美濃実行委員会との連携  
(2) ツール・ド・西美濃実行委員会及び本部会への参画  
(3) ツール・ド・西美濃2022開催準備への参加・協力
- 事業名 最重点事業制度の推進

目的 最重点事業制度への理解を深めると共に、過去3年間の対外例会の検証を行うことで、2023年度以降の運動指針を策定する。

予定と方法 (1) 過去3年分の対外事業の検証  
(2) 全体会議の開催(1月、6月)  
(3) その他
- 事業名 SDGsの推進

予定と方法 (1) その他
- 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

## 70周年事業推進委員会 年間事業計画

担当 委員会	情報交流 70周年事業推進委員会
委員長	長澤 愛樹
副委員長	太田 佳祐
委員	飼沼 優作
	新川 聖平
	・ 恒本 浩志
	・ 多賀 祐人
	・ 水谷 孔輔

基本方針
地域に根差す青年団体として公共心を養い、社会貢献すると共に次代を担う青少年に発展と成長の機会を提供する。

## 委員長方針(案)

70年に亘り、地域に根差す青年団体である大垣青年会議所は地域の協力の下、先輩諸兄が築き上げてこられた礎の上で設立の想いを受け継ぎ「明るい豊かな社会の実現」に向けて運動を行っています。その想いを受け継ぐ我々は公共心を養い、社会貢献すると共に絶やすことなく次代へ繋ぐ必要があります。

その一環として青少年を対象に地域課題に対し多面的視野が持てる「発展の機会」と持続可能なライフスタイルを送るために必要な知識を得る「成長の機会」を提供し、「地域のリーダー」となる人財育成の一助となる事業を行います。また、広報活動において青年会議所活動・運動の情報発信を適時適切に行うことに加え、新たに地域情報を発信するツールを作成します。それにより地域と地域、人と人を繋ぎ合わせ地域活性化に寄与することこそが地域に感謝し、恩返しすることに繋がると確信します。

## &lt;事業計画及び予算(案)&gt;

1. 事業名 7月度例会の企画・運営
- 目的 持続可能なライフスタイルを送るために必要な知識を得る「成長の機会」を提供し、「地域のリーダー」となる人財育成の一助とする。
- 予定と方法 (1) 7月  
(2) 青少年を対象とした教育研修事業  
(3) 種別・公益事業(公3)  
(4) 短期ビジョン該当項目:主体者の育成と住民の積極的な社会参画に向けた取り組み
- 予算
- | <支出の部> |         | <収入の部> |         |
|--------|---------|--------|---------|
| 事業費    | 600,000 | 一般会計   | 600,000 |
| 合計     | 600,000 | 合計     | 600,000 |
2. 事業名 11月度例会の企画・運営
- 目的 地域課題に対し多面的視野が持てる「発展の機会」を提供し、「地域のリーダー」となる人財育成の一助とする。
- 予定と方法 (1) 11月  
(2) 創立70周年記念事業  
(3) 種別・公益事業(公1)  
(4) 短期ビジョン該当項目:西美濃の歴史・財産を知り、誇りと郷土愛の育成に向けた取り組み
- 予算
- | <支出の部> |           | <収入の部>    |           |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 事業費    | 5,500,000 | 一般会計      | 500,000   |
|        |           | 地域みらい創造基金 | 5,000,000 |
| 合計     | 5,500,000 | 合計        | 5,500,000 |
3. 事業名 広報管理に関する事業
- 目的 青年会議所活動・運動の情報発信を適時適切に行うことに加え、新たに地域情報を発信することで地域と地域、人と人を繋ぎ合わせ地域活性化に寄与する。
- 予定と方法 (1) ホームページの管理・運営  
(2) WEB媒体、SNSを利用した情報の発信  
(3) 地域密着情報ポータルサイト開設  
(4) 機関誌の発行  
(5) 種別・その他の事業
- 予算
- | <支出の部> |         | <収入の部> |         |
|--------|---------|--------|---------|
| 事業費    | 100,000 | 一般会計   | 100,000 |
| 合計     | 100,000 | 合計     | 100,000 |

- |    |       |                               |
|----|-------|-------------------------------|
| 4. | 事業名   | SDGsの推進                       |
|    | 予定と方法 | (1) その他                       |
| 5. | 事業名   | 各委員会との連携                      |
|    | 予定と方法 | (1) 2月度例会の企画・運営の協力<br>(2) その他 |

渉外委員会 年間事業計画

担当 委員会	情報交流 渉外委員会	基本方針
委員長 副委員長 委員	栗田 裕介 水森 等紀 新井 貢 川口 将輝 ・ 伊藤 裕一郎 ・ 杉江 拓弥	

委員長方針

大垣青年会議所は創始より今日まで伝統や高い志と信念を繋ぎ、明るい豊かな社会の実現を目指して運動を行ってきました。70年という長き歴史を繋いでこられたのも多くの同志、先輩諸兄、西美濃地域関係各諸団体、地域の方々との協働があつてからこそだと考えます。関係各位に改めて感謝を伝え、今後の大垣青年会議所の運動が更に飛躍できるよう、未来の方向性を示し共有することで、更なる連携を強固にする機会が必要です。また、今まで支えとなって頂いた西美濃地域関係各諸団体とも引き続きの協働を貫いていくため、社会情勢に合わせた形を活用しながらの交流を推進し、連携を強固にすることで地域の発展に寄与していきます。それに加え、当委員会がすべての対外窓口となり、出向者と密に関わり、支援すると共に各事業を会員の皆様に詳細にお伝えし、参加協力を促していくこととお誓いします。

<事業計画及び予算>

- 事業名 2月度例会の企画・運営

目的 関係各位に感謝を伝える共に未来の方向性を示し共有することで、持続可能な西美濃を牽引する人財となる契機とする。

予定と方法 (1) 2月  
(2) 創立70周年記念式典  
(3) 記念誌の発行  
(4) 種別:その他の事業

予 算	<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	2,000,000	地域みらい創造基金	2,000,000
	合計	2,000,000	合計	2,000,000
- 事業名 8月度例会の運営

目的 西美濃地域関係各諸団体と共に参加・協力し、西美濃の魅力を発信する機会とする。

予定と方法 (1) 8月  
(2) 第38回水門川万灯流しへの参加・協力
- 事業名 10月度例会の運営

目的 西美濃地域関係各諸団体と共に参加・協力し、地域活性化に繋げる機会とする。

予定と方法 (1) 10月  
(2) 第49回十万石ふるさとまつりへの参加・協力
- 事業名 西美濃地域関係各諸団体との窓口及び協力

目的 西美濃地域関係各諸団体の事業の窓口となり、会員に参加を促進し、積極的に協力する。

予定と方法 (1) 西美濃地域関係各諸団体の各種事業の発信及び参加・協力の依頼  
(2) 西美濃地域関係各諸団体との協働  
(3) 西美濃地域関係各諸団体への出向者の支援  
(4) 西美濃地域関係各諸団体に対する大垣青年会議所事業への参加・協力の依頼
- 事業名 JCI、JCI日本及び対外事業の窓口及び参加推進

目的 対外窓口として出向者と連携し、支援をすることで、各事業の内容、趣旨を会員に詳細に伝え、参加を促進する。

予定と方法 (1) JCI日本 京都会議 (1月) 京都  
(2) 岐阜BC 岐阜会議 (2月)  
(3) JCI ASPAC (5月) 大阪  
(4) JCI日本 サマーコンファレンス (7月) 横浜  
(5) 東海DC 東海フォーラム

- (6) 岐阜BC 岐阜ブロック大会(8月) 土岐
- (7) JCI日本 全国大会(10月) 大分
- (8) JCI JCI世界会議(11月) 香港
- (9) 岐阜BC 第60回岐阜ブロック野球大会
- (10) 岐阜BC 第56回岐阜ブロックじゃがいも大会
- (11) 岐阜BC 第26回岐阜ブロックサッカー大会
- (12) その他

- 6. 事業名 花蓮国際青年商會との交流に関する事業
  - 目的 花蓮国際青年商會との国際交流を通じ、互いを理解することで、より良い友好関係を築く。
  - 予定と方法 (1) 花蓮国際青年商會との交流の窓口  
(2) 報告書の作成
- 7. 事業名 他LOMとの交流
  - 目的 他LOMとの交流を通じ、より良い友好関係を築くと共に、互いを高め合う機会とする。
  - 予定と方法 (1) JCI鹿児島との防災ネットワークに関する協定の更新(1月)  
(2) JCI各務原との交流事業
- 8. 事業名 趣味の会の窓口
  - 目的 趣味の会の参加を促進し、趣味を通じて交流することで会員同士の友情を深め、青年会議所活動の活力とする。
  - 予定と方法 (1) 趣味の会の募集・登録窓口
- 9. 事業名 SDGsの推進
  - 予定と方法 (1) その他
- 10. 事業名 各委員会との連携
  - 予定と方法 (1) その他

総務委員会 年間事業計画

担当 委員会	事務局 総務委員会			基本方針
委員長	林田 丈祐			全ての会員が青年会議所活動・運動に邁進できるよう、正確かつ円滑な組織運営に努め、次代へ繋がる組織とする。
副委員長	大杉 徹	・ 山田 邦晶		
委員	西本 匡良 吉田 湧基	・ 森 俊彰 ・ 若松 悠平		

委員長方針(案)

大垣青年会議所が71年目を迎え、明るい豊かな社会を実現するため、日々青年会議所活動・運動を行えているのは、先達の情熱を継承すると共に、正確かつ円滑な組織運営がなされてきたからであると考えます。現在、会員減少により組織運営が厳しさを増していく中、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、対面機会が減少し、十分な連携が取れていません。この現状を打開し、より強い組織となるためには、組織内の連携を深めると共に、会員一人ひとりの力を存分に発揮することが必要です。本年度も時代に即した組織運営を考えると共に、正確かつ円滑な組織運営を行うことにより、組織内の連携を一層強め、会員一人ひとりが青年会議所活動・運動に邁進し、次代へ繋がる組織となるよう努めてまいります。

<事業計画及び予算(案)>

- 事業名 1月度例会の企画・運営

目的 2022年度の決意と方向性を理解し、共有・発信すると共に、青年会議所活動・運動への意欲を高める場とする。

予定と方法 (1) 1月  
(2) 新年互礼会  
(3) 種別・その他の事業

予 算	<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	200,000	一般会計	200,000
	合計	200,000	合計	200,000
- 事業名 12月度例会の企画・運営

目的 卒業生に感謝を伝え、祝福すると共に、会員が伝統を継承し、志を次代へ繋げる場とする。

予定と方法 (1) 12月  
(2) 卒業生を送る会  
(3) 種別・その他の事業

予 算	<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	110,000	一般会計	110,000
	合計	110,000	合計	110,000
- 事業名 通常総会及び臨時総会の設営・運営

目的 正確かつ円滑に総会の運営を行う。

予定と方法 (1) 通常総会(1月)及び臨時総会の設営・運営  
(2) 議事録の作成
- 事業名 理事会運営に関する事業

目的 各委員会との連携を密に行い、正確かつ円滑な理事会の運営を行う。

予定と方法 (1) 理事会の準備及び設営  
(2) 議事録の作成  
(3) 理事会資料の配信及び厳格な資料の確認  
(4) マニュアルに基づく議案上程の周知
- 事業名 基本資料・定款及び会員名簿の作成と管理に関する事業

目的 2022年度の大垣青年会議所の情報を資料として正確にまとめることで、円滑な活動の一助とする。

予定と方法 (1) 基本資料の作成・会員名簿の作成  
(2) 定款及び運営規則の管理

6. 事業名 大垣青年会議所の運営全般に関する事業
- 目的 活発な青年会議所活動・運動を会員が行えるよう、正確かつ円滑な組織運営を行う。
- 予定と方法 (1) 例会及び事業等の配布物準備  
(2) 各事業及び各委員会の出欠席の管理  
(3) 事務局の管理・運営  
(4) 弔事に関する運営  
(5) 定款・運営規則等の規定の精査・改正  
(6) メーリングリストの構築・管理  
(7) 情報公開に関する管理  
(8) その他
7. 事業名 情報管理のための事業
- 目的 活動・運動記録を管理することで、大垣青年会議所の歩みを次代へ繋げる。
- 予定と方法 (1) 各事業記録の整理・保管  
(2) 各事業写真の保管  
(3) 議案書の保管  
(4) 事業活動アルバム(DVD)の作成及び関連記事の整理
8. 事業名 公益法人格制度に関する運営・手続
- 目的 公益法人格の意義を深く理解し、正確な運営を行う。
- 予定と方法 (1) 公益法人格取得団体としての運営・手続
9. 事業名 財務管理に関する事業
- 目的 厳正な財務管理、資産管理のもと、各委員会と連携し正確な組織運営を行う。
- 予定と方法 (1) 一般会計、基金会計、特別会計の管理  
(2) 基金運用計画に基づく資金管理  
(3) 予算立案に伴う業務  
(4) 予算、決算及び各事業の変更に伴う業務  
(5) 中間決算及び年度末決算  
(6) 預り金の管理
10. 事業名 SDGsの推進
- 予定と方法 (1) その他
11. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他